

62歳、宮崎学園短大に入学

文学語り合いたい

宮崎市の村上さん夢実現

宮崎市清武町の宮崎学園短期大学で7日、入学式があ



長年の夢をかなえ、宮崎学園短期大学に入学した村上さん

り、62歳の村上清子さん。同市村西3丁目Ⅱが高校を卒業したての若者たちと共に、大学生としてのスタートを切った。人間文化学科国語国文コースで学ぶ村上さんは「パソコンの操作など不安もあるが、人に伝わる文章を書ける

よう勉強したい」と期待に胸を膨らませている。もともと文章を書くことが好きだった村上さん。若いころから、大学で本格的に国語を学びたいという思いはあったが、仕事や子育てに追われて夢をかなえられず、新聞へ

エッセーを投稿するなど趣味の域で楽しんでいた。

2人の子どもが自立し、仕事も退職した昨年、国語や国文学を学ぶ同コースに入学することを決意。「子どもや夫も『頑張って』と背中を押ししてくれた」と言い、2月の入試で合格を果たした。

同級生は、30代のわが子よりもずっと年下だが、「文学を語り合うなど刺激を受けた」と目を輝かせ、サークル活動にも意欲を見せる。昨年12月に97歳で他界した母フサ子さんに「2年間あきらめることなく努力し、人生の集大成を見せたい」と誓う。